



持続可能な 未来を拓く 工業炉業界

一般社団法人日本工業炉協会では、8つのゴールを重点目標と定め、それぞれの優先課題に取り組んでおります。令和4年度の重点目標、優先課題は前年度から変更ありません。具体的な取り組み内容は以下の通りです。

3 すべての人に健康と福祉を

■ 労働安全衛生への取り組み
有害化学物質のマネジメント、削減への取り組みとして、令和3年度は、有害化学物質管理に関する勉強会を実施し情報を発信しました。令和4年度は、化学物質管理の見直しに向けた対応の検討を行います。

8 働きがいも経済成長も

■ 働き方改革への取り組み
令和3年度は高齢者雇用推進ガイドライン策定に続きフォローセミナーを開催しました。令和4年度も高齢者雇用をはじめとした働き方改革全般について、総務委員会の活動を通じて参考事例を発信していきます。

4 質の高い教育をみんなに

■ 業界の人材の知識、技能のレベルアップ
令和3年度は、専門基礎講座の研修に加え、誘導加熱専門講座を新たに開講しました。令和4年度は、誘導加熱専門講座を2回程度開催する予定です。また、さらなる講座開設の準備を進めていきます。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

■ 工業加熱プロセスにおけるCO₂削減(技術革新)への取り組み
今年6月開催の「サーモテック2022」では、出展各社の展示やアカデミックコーナーでの各大学研究室の発表等を通じて、新技術の情報を発信します。また、年度を通して新技術情報に関する各種の勉強会を開催していきます。

5 ジェンダー平等を実現しよう

■ ダイバーシティ推進への取り組み
令和4年度は、企業訪問や女性社員交流会の開催を通じて女性活躍の推進事例や参考意見を収集し、会員企業に向けて発信します。

12 つくる責任 つかう責任

■ 工業炉標準化への取り組み
当協会は、ISO/TC244の国際幹事として工業炉関連の国際標準(ISO)の発行に貢献しています。令和4年度は、水素などの非化石燃料の安全基準策定のための検討および安全計装リスクアセスメントガイドの普及に取り組めます。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

■ 省エネルギーへの着実な取り組み
省エネ補助金の活用推進を通して、引き続き省エネルギー設備への投資を促進し、高効率型(低炭素)工業炉の普及を推進します。
なお、高性能工業炉(リジェネラティブシステム)納入実績は、令和2年時点で累計で2150基を超えています。

13 気候変動に具体的な対策を

■ 省エネルギーによる脱炭素への取り組み
カーボンニュートラル実現へのロードマップを検討するなど、環境負荷低減につながる活動を展開していきます。
また、シンポジウム等による他団体との交流、連携により脱炭素への新たな取り組み方法を検討します。